

一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

わたしは記憶力が良い。とても、良い。自分でも苦しいくらいいろいろなことを覚えているし、忘れられない。友だちが通っていた中学校の名前や、夫の幼なじみが結婚式を挙げた日など、周りが怖がるほどよく覚えている。似た者同士か、夫もかなり記憶力が良いほうだったが、わたしの記憶力が桁違いにすごいので、自分は何かを記憶するのをやめたと言い出した。

しかし、そんなわたしも舌を巻くほど記憶力の良い人がある。三歳の姪っ子だ。彼女も本当に些細なことまで覚えている。まだ三年ほどしか生きておらず、言葉を話し出してから二年足らずだが、それにしても、自分が見聞きしたことをよく覚えていて話してくれる。

というのも、この一年ほどで会話や意思疎通ができるようになった彼女と、何度となくビデオ通話をするのがあり、そのときに話していることにいちいちびっくりするのだ。まだ会話らしい会話ができなかった頃の話を、昨日のこのように切り出してくる。髪の毛を初めて切りに行ったのに怖くて泣いてしまったこと、山に遊びに行ったら虫がたくさんいて嫌だったこと、ばあばの家でプールに入ったとき、なんで〇〇はおらんかったのかなあ……という疑問など、「そういえばそうだったね」というような、大人が忘れていた些細な記憶も随分鮮明にあるようだった。ただ寝転がって、ほかにやほにや泣いていた赤ちゃん時代を恋しく思う気持ちもあったが、そんな風に会話ができるようになってからは本当に愉快地感じる。予想外の言葉や話題が飛び出して、いつも大笑いしてしまう。わたしは姪と通話したときのことを、いつも日記に事細かに書き残している。ビデオ通話で呼び出されるのは大体夜の八時前後で、それは姪がごはんやお風呂も済ませ、あとは寝るだけのんびりした時間である。画面に映る彼女はいつもパジャマ姿で、長い髪の毛も下ろしている。叔母はほとんど家にいるので、大体応答できる。

我が家ではその時間は夕飯時なので、テーブルにiPadを置いて食べながら会話する。笑えるのは、自分からかけてきておいて、いざ繋がる時と恥ずかしいのかお尻を向けてしばらく固まっているところだ。「あれ？」「おい」と呼びかけて、世間話をふり、なんとか平常モードに持ち込む。ノってくると、おしゃべりになっていくような質問で攻めてくる。「なに飲んでるん？」「それなに？」など、矢継ぎ早に聞いてくる。あるとき感動したのは、「自分はいまお星様のパジャマを着ているが」まりちゃんは何のパジャマ？」と聞いてきたことだ。これまではあまり脈絡なく、「この絵本読んだ。」とか「七五三だから髪を伸ばしてる。」とか言うだけだったのに、質問をするようになっていく。コミュニケーションのレベルが、ひとつ上がったのを感じた。

新幹線の距離なので、実際に会うのは一年に五回くらいだが、会うとつい甘やかしてしまう。ビデオ通話のときのように、会って最初は恥ずかしそうにくねくねしているが、少し時間が経てばべったりで、トイレも絵本もごはんもまりちゃんと、と甘えてくる。特にトイレの手伝いは難儀して、外出先ではいつも緊張する。自分自身が未っ子で、子どももいないので、いろいろなことが探り探りであるが、小さな子どもと過ごしていると時間が一瞬で溶けることがわかった。ちなみにこの姪のほかにあと二人、二歳と一歳の姪がいるので、暮れに集まったときはたいそう賑やかな家になった。特に食事の時間はばたばたで、食材をハサミで小さく切って食べさせたり、食べこぼしたものを拭いたり、ハイハイしている一歳を捕まえてお尻のにおいを嗅いで兄にバトンタッチしたり、子どもの倍以上の数の大人がいるのに、誰も腰を落着けることができなかった。子どものなかでは年長である三歳の姪は、おなかいっぱいでもう食べられないのに、あと少し残った味噌汁を飲むか飲まないかで一時間揉めて号泣していた。寝る前に抱っこしてトントン背中を叩いていると、すごい勢いで姪の身体がぽかぽか温まってくる。眠そうにしている顔は、赤ちゃんの頃のままだった。

姪は最近話したいことがありすぎるのか、息継ぎさえ忘れるほどずっと喋っている。大体は、今日何をして遊んだとか、妹が絵本を齧って困るとか、地域の支援センターで風邪をもらってきたとか、そういう話であるが、先日突然「まりちゃんってコーヒー飲めるん？」と聞いてきた。「飲めるよ、好きよ。」と答えると、「コーヒーは？」と言う。「それも飲めるよ。」と返し、なんの話だろうと思っていたら、「まりちゃんと今度マックに行きたいんやけど。」ということだった。マクドナルドのチラシを持ってきて、コーヒーやコーラ（と思いきソフトドリンク）を指さして「マックにあるけんさ……。」と呟く。「もちろんいいよ、行こうね。」と返事をしたが、その誘い方に笑ってしまったのと同時に、コミュニケーションがさらにレベルアップしていることに何より驚いた。夫にそのことを話すと、「タイ料理屋に誘う導入で、『パクチー好き？』って聞くみたいな感じだね。」と、やはり笑っていた。相手の好みをリサーチしながら誘う仕草がなんとも大人みたいで、うれしいような寂しいような不思議な心持ちになった。

近いうちに引っ越しする予定で、この春から幼稚園に通う話もしてくれただ。この前幼稚園を見に行つて、園長先生に自分の名前も言えたのだそう。ずっと家で育ってきたから、春からがらりと生活が変わることだろう。同い年の友だちがたくさんできて、毎日いろいろなことが起きて、離れて住む叔母の存在は小さくなっていくと思う。親のいないところでさまざまな経験を積み、社会を学んで、彼女の世界は広がってゆくはずだ。いままで彼女のなかで生きていた些細な記憶も、どこかへ押しやられていくかもしれない。だから、ちっちゃかった姪のかわいい思い出は、わたしがずっと覚えていることにする。でもいつか二人で、マックでお茶をする約束を覚えていてくれたら、とてもうれしい。

（僕のマリ『記憶を食む』による）

*注 iPad——タブレット型のコンピュータ。

マックにあるけんさ——「マック（マクドナルド）にあるからね」という意味。

パクチー——セリ科の香味野菜。タイ料理によく使われる。

問一 ― 線部1とありますが、「兄にバトンタッチし」て、何をしてもらうのですか、答えなさい。

問二 ― 線部2「まりちゃんってコーヒー飲めるん？」・3「コーラは？」と姪が質問してきたのは、どういう目的からですか、説明しなさい。

問三 ― 線部A「矢継ぎ早」とありますが、同様に「矢」を用いた慣用句はいろいろあります。次の例文の [] に入る語をそれぞれ答えなさい。すべてひらがなで答えてもかまいません。

- 1 けんめいに努力したが [] 折れ矢尽きてあきらめた。
- 2 社長が批判の矢 [] に立つことになった。
- 3 発表者として、かれに [] の矢が立った。
- 4 友人のピンチに、矢も [] もたまらずかけつけた。

問四 ― 線部B「レベルアップ」とありますが、「アップ」という形の外来語はいろいろあります。次の意味になる語を、それぞれ解答らんに合わせて答えなさい。

- 1 あきらめてやめること。
- 2 多くのものからいくつかを選んでとりあげること。
- 3 競技の前に行う準備運動。
- 4 コンピュータを設定して使えるようにすること。

問五 ― 線部C「うれしい」とありますが、このように「うれしい」で終わる言葉はいろいろあります。次の文を完成させるのに最も適当な「しい」という言葉をそれぞれ答えなさい。ひらがなで書いた場合の最初の一字と、「しい」もふくめた文字数は、指示してあります。

- 1 いつも私の帰りを迎えてくれる子犬は、本当に（い・五字）。
- 2 かれはいつも自分が得をすることばかり考えているという、（さ・四字）根性の人間だ。
- 3 政治についての議論がずいぶん（か・六字）。
- 4 先生が、もったいぶった（し・七字）様子で話を始めた。
- 5 どこに座ってもいいのに、遠慮して隅に座るかれは、（つ・五字）性格だ。

二 次の1～5の意味になる「門」を用いた言葉を、それぞれ条件にしたがって答えなさい。

〔例〕 由緒ある家柄。

〔条件〕 漢字二字で答えなさい。

〔例〕 の解答 名門

- 1 あるものを他人に見せたり、貸したりしないで秘蔵すること。
- 〔条件〕 漢字四字で答えなさい。
- 2 戦争に負けて、相手に屈服すること。
- 〔条件〕 「にくだる」で終わるように答えなさい。
- 3 その分野を専門としない人。
- 〔条件〕 漢字三字で答えなさい。
- 4 出入りの制限をして、交流をしない。
- 〔条件〕 「をとざす」で終わるように答えなさい。
- 5 面会しないで来訪者を追い返すこと。
- 〔条件〕 「ばらい」で終わるように答えなさい。

三 示された意味になるように、1～5の [A]・[B] に適当なひらがな一字を入れて、言葉を完成させなさい。ただし、[A]と[B]は異なるひらがなとします。

- 1 [A]や[B]や （記憶がはつきりしない様子）
- 2 [A]ぎ[B]ぎ （うろたえて受け答えできない様子）
- 3 [A]ぐ[B]ぐ （食いちがっている様子）
- 4 [A]ら[B]ら （まばらにある様子）
- 5 [A]た[B]た （急ぎ、あわてている様子）

四 次の俳句の [1]～[7] に入る言葉として、最も適当なものをそれぞれの後のア～クから選び、記号で答えなさい。ただし、同じものはくり返して使えません。

- 客帰り掴んで大口 [1] 小嶋信太郎
- [2] のの字をなぞる風の指 阪本彩
- ほろ苦きが来し方や [3] 水上山機
- 八月の鬱を突き出す [4] 室生幸太郎
- [5] 崩れ易きはころざし 林ヨシ子
- [6] や光立ちたる金の中 森下静子
- 捨てられぬ夢 [7] の尾から食い 佐藤七重
- ア 桜餅 イ 新米 ウ ぜんまい エ 鯛焼
- オ ところてん カ とらふぐ キ 冷奴 ク 落の藪

五 次の1～5の文には、身体にかかわる慣用句が用いられています。それぞれの [] に入るひらがな三字を答えなさい。

〔例〕 来ると思っていた人が来ずに、肩 [] をくらった。

〔解答〕 すかし

- 1 頭 [] にしかりつけられて、大いに不満だった。
- 2 かれは石のように身 [] 一つもせず立っていた。
- 3 君は相変わらず [] 口ばかりたたいているね。
- 4 社長が手 [] お作りになった料理をいただいた。
- 5 そんな小さなことに目 [] を立てるなよ。

六 次の漢字しりとりを、〔条件〕にしたがって完成させなさい。

〔例〕 賛 [x] ― [x] [y] ― [y] 路

刷 [a] ― [a] [b] ― [b] 学 ― [c] ― [c] [d] ― [d] 人 ―
人 [e] ― [e] [f] ― [f] 医 ― 医薬 ― 薬 [g] ― [g] [h] ― [h] 立 ―
立法 ― 法規 ― 規正 ― 正 [i] ― [i] [j] ― [j] 日

〔条件1〕 示された漢字も、 [] 内の漢字もすべて音読みです。

〔条件2〕 xとy、aとb、……、iとjの組は、それぞれ同じ読み方ですが、異なった漢字です。

〔条件3〕 示された漢字は、それぞれ一回目と二回目とで読み方が変わる場合があります。

〔条件4〕 [] 内の漢字は、それぞれ一回目も二回目も同じ読み方です。

〔条件5〕 同じ漢字をくり返して使ってはいけません。

〔例〕 の解答 x 同 y 道

受験番号

令和七年度

灘中学校入学試験問題

国語

一日目

三枚のうちの三枚目

◎解答に字数制限のある場合、句読点などの記号も字数に数えます。

三

5	4	3	2	1
た	ら	ぐ	ぎ	や
た	ら	ぐ	ぎ	や

四

6	1
7	2
	3
	4
	5

五

5	4	3	2	1
目	手		身	頭
		口		

六

i	e	a
j	f	b
	g	c
	h	d

問五					問四				問三				問二	問一
5	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1		
つ	し	か	さ	い										
			し		アップ		アップ	アップ						
し			い	し										
い		し		い		アップ								
	し	い												
	い													

二

5	4	3	2	1
	を		にく	
は	ご		だる	
い	ち			